

市単独での現状脱却は困難である。国に対してさらに財政措置を講じるよう要望していく。②無保険者の現状把握ができていないので、今後の課題としたい。

〈その他の質問事項〉

- 「国保の広域化」について
- 学校教育について。



窓口業務

安心した子育てに向けて

遠藤正信 議員

○学童クラブへの高学年入所希望の相談を受けるが入所規約について子育て支援からも今後拡充を検討してはどうか

質問 学童クラブの入所規程を知るために実施要綱を調べたら、対象が1年から3年生までで、4年生になると対象からはずされてしまう。子育て支援ということから考えれば、もう一步拡充して4年、可能であれば5年、6年生までの希望者が多いと聞いている。安価な料金によって、ひとりで

留守番ができるようになるまで何とか拡充できないか。保護者の希望があった場合には、入所スペースや財政面などきびしいとは思

うが親が仕事を終わって帰ってくるまで、また例えば長期入院などで、子どもを見るのができない場合、同クラブで安全に、預かってもらえるよう門戸を開いてほしい。

答弁(教育長) ご質問の学童クラブの入所学年の拡充・それに伴う4年生以上の有料化については、平成19年

10月19日付け、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長より、放課後児童クラブガイドラインにより入所の要件が示されている。入所希望者の状況を調査し、要望の強い地区から施設の受け入れ態勢が整い次第、順次受け入れを進めていく考えである。

(再質問) 要望なり父兄の状況を調べながら早い実現を望む。

〈その他の質問事項〉

○通学路の防犯と安全対策について。

○一部事務組合の起債の現況と今後の返済計画について。

まちづくりを考える

中村安雄 議員

○まちづくり交付金事業の予算の執行状況と旧報徳銀行の事業の経過について

質問 ①まちづくり事業は最終年度をむかえようとしており、現在までに執行してきた事業内容、執行額及び進捗率について尋ねる。また平成23年度の計画概要と予算額について尋ねる。

②旧報徳銀行は以前の説明により大幅な歳出増となっておりが、その原因と理由について尋ねる。また、市街地にぎわい再生事業による街づくりと旧報徳銀行の今後の扱いについてどのような考えを持っているか。

答弁(都市建設部長) 平成22年度末の執行額は、約8億7千700万円、進捗率は、約58・7%となる見込み。

平成23年度の事業は、北海道南地区関連道路の造成工事及び市街地にぎわい再生事業用地買収・補償及び本工事を計画しており、約5億円の予算要求を行う予定。

次に、旧報徳銀行の改修工事は、建設当時の建物への復元及び大規模な耐震補強工事の2点の理由により、当初の改修工事費を大幅に上回る結果となったものである。

関係各課と協議を行いながら、市街地にぎわい再生事業と一体となるような利用方法等を検討したい。平成22年7月から使用停止をしています。

旧報徳銀行の今後の取扱いは、耐震補強工事に多額の工事費がかかること。また、市街地にぎわい再生事業により市民交流施設が建設されることも考慮し、慎重に検討しなければならぬと考えている。

(再質問) 報徳銀行の予算の執行状況を聞きたい。既に8千4百万円が使われている、これからいくらかかるのか。

(再答弁) (都市建設部長) 耐震化の工事費については、答えられない。無駄な出費が出ないように注意して行



学童クラブ